

五霞町地域福祉計画を策定

“大きな『絆』があるまち 五霞”

《地域福祉とは》

だれもが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らすことのできる社会を実現することは、すべての人の願いです。

社会福祉法では、地域福祉の目指すところは、このような社会を実現するために、「個人が人として尊厳をもって、家庭や地域の中で、障害の有無や年齢にかかわらず、その人らしい安心のある生活が送れるよう自立を支援する」とこととされます。

これまでも公的な福祉サービスの提供により自立支援が進められてきましたが、各サービスの隙間となる部分については、地域のつながりによる助け合い、支え合いによって成り立ってきました。しかし、近年は五霞町も少子高齢化やコミュニティの希薄化など社会的課題も顕著になり、従来から続く地域のつながりも薄れつつあります。

そのため、地域のつながりや住民活動の重要性を再認識し、住み慣れたまちの安心を再認識し、いきいきと暮らせる地域づくりが求められています。

《策定の経緯》

計画の策定に合わせて、15行政区での行政懇談会や、本計画の策定のための基礎資料を得るために20歳以上の町民1,000人、中学生、ボランティア団

体を対象としたアンケートを通して、地域の福祉課題及びニーズの把握等幅広く意見を集めて策定されています。

また、計画について調査・審議するため「五霞町地域福祉計画策定委員会」を組織し、地域福祉について議論を重ね総合的な計画の策定を進めてきました。

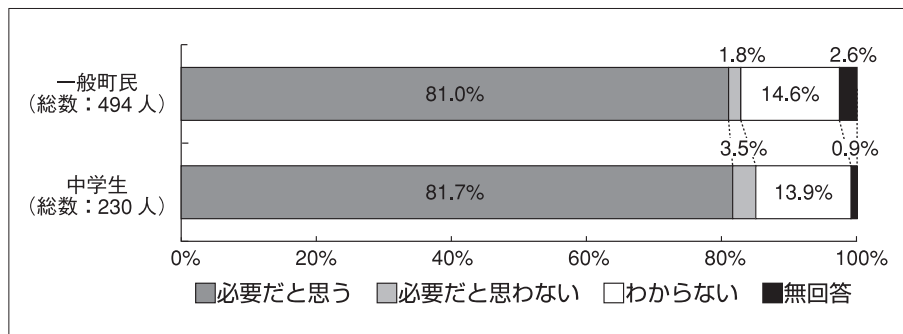
《計画期間》
計画の期間は、平成24年度を初年度とし平成28年度末までの5年間とします。

《計画の目指すところ》

町民一人ひとりが地域で暮らすみんなと一緒に、ともに助け合い、支え合いながら、町民の大きな『絆』によって安心して暮らせるまちづくりを基本理念とします。

基本理念の実現に向けては、行政はもとより、町民、事業者、地域団体、企業などの積極的な関わりが不可欠であり、地域で暮らすみんなが協力・連携して取り組んでいきます。

○住民の支えあいの必要性についてのアンケート結果



「五霞町地域福祉計画素案」に関するパブリックコメント結果公表について

五霞町地域福祉計画素案に対するパブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見をいただきました。

皆様からいただいたご意見に対する「町の考え方」を取りまとめましたので、五霞町地域福祉計画とともに公表します。

○意見の募集期間 平成24年2月1日から2月10日まで

○募集方法 郵送、FAX、電子メール及び持参による方法

○募集結果 意見総数 1件

○項目別意見数 提出された意見等の要旨及び町の考え方

提出いただいた意見等の要旨	町の対応
最近、特に高齢化が進み高齢者が多くなっていることから、社会福祉関係のことが大事になると思います。町民のみなさんが福祉関係の事を知っていただくには、行政としてもPRしていただきたく思います。	五霞町地域福祉計画の各施策(事業)を推進するにあたっては、行政・町民・事業所・団体等が協働して取り組んでいく必要があります。そのため、計画内容を町民の皆様へ知っていただくため、概要版を作成し全世帯に配布するとともに、町の広報紙や町公式ホームページ等を活用して周知の徹底を図ってまいります。

■地域福祉計画を町長に答申
大きな『絆』があるまち五霞
3月1日、中川忠理委員長、篠崎悦子副委員長が、染谷町長に答申を行いました。

昨年11月に染谷町長から諮問があり、3回にわたって慎重なる審議を重ね「五霞町地域福祉計画」がまとまりました。

答申を受けた染谷町長は、「地域福祉計画は、福祉に関する一番大きな計画であり、まとめていただきありがとうございます」とお礼を述べました。

今回策定された地域福祉計画の基本理念(キャッチフレーズ)は、「大きな『絆』があるまち五霞」です。

町民のみなさんが、住み慣れた地域とともに支え合いながら自分らしく安心していきいきと暮らせるまちづくりを目指してまいります。

